

覚醒剤大量密輸事件

第五管区海上保安本部警備救難部長に着任した直後... 平成20(2008)年4月27日(日)、四国の足摺岬沖に見慣れない漁船が... 航空機で確認すると、小型ボートを曳航した香港籍の漁船でしたが、巡視船艇が現場に着く前に小型ボートが一時漁船を離れるなど、怪しい動きをしていました。現場に着いた巡視船艇の停船命令に反応しなかったため、立入検査忌避罪で逮捕したのです。現場の状況などから薬物事犯の疑いも... 高知保安部、県警と緊密連携

その後の分析や情報収集により、何らかの薬物密輸の動きがあるとの心証を強くし、次回同種事案においては、隠密追尾を基本とする方針を五管区管内で徹底したのでした。そして翌年2月7日(土)、管内パトロール中の固定翼航空機が室戸岬沖の領海外で不審な中国漁船

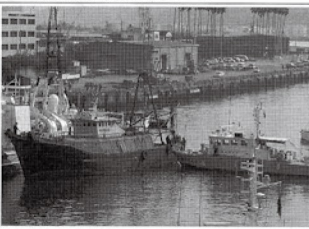
幸運の女神が微笑む準備を

を発見したのです。事前の方針どおり、航空機と巡視船艇による隠密の追尾が始まりました。すると夜の9時過ぎになつて、中国漁船が領海外で小型ボートを降ろし、そのボートが室戸岬の先端付近の漁港に入港したのでした。小型ボートの漁船乗組員が覚醒剤約120キロの入ったバッグ4個を岸壁に陸揚げしたちやうどその頃、海保からの通報で駆け付けた高知県警のパトカーが漁港に到着しました。慌てて現場から逃げた受け取り側の中国人3名はその後、高知県警と徳島県警に逮捕されます。一方、海上に逃れた小型ボートを揚収した中国漁船は巡視船艇の停船命令に従わず夜間逃走を続けました。そこで、夜が明けたころ海上保安官を中国漁船に移乗させ、中国漁船乗組員6名全員を立入検査忌避罪で逮捕したのです。海上保安官の素早い対応により、漁船乗組員は重要証拠物である携帯電話を海に投棄する... 余裕ありませんでした。そして、海保、警察、税関の合同捜査本部によるその後の捜査により、受け取り側の日本人関係者2名を加えて関係者11名全員が覚醒剤取締法違反で送致されたのでした。

高知保安部、県警と緊密連携

覚せい剤120キロ押収

五機本部は密輸捜査... 高知港に回航された漁船・珠番2543



事件を報じる2009年2月19日付の本紙1面

本件対応後、事件概要をまとめた本庁運用司令センターの報告資料に「幸運の女神は準備しているものには微笑まない」という細菌学者パスツールの言葉が引用されているのを見てうれしく思ったものです。(第45代海上保安庁長官) 11つづく